

第 36 回

JTA公認翻訳専門職資格試験

Certified Professional Translator Test

< 受 験 案 内 >

IT時代の

プロフェッショナル・トランスレーターへ

一般社団法人日本翻訳協会（J T A : Japan Translation Association）では、永年にわたって翻訳者の能力を認定する<翻訳技能認定試験（翻訳検定）>を実施し、延べ3万人以上の方が受験されました。

2008年12月より、名称を「J T A公認翻訳専門職資格試験」と改め、従来の会場試験からインターネットによる在宅型の試験に変更、試験内容も一新しました。

今後のビジネスコミュニケーション、特に翻訳ビジネスにおいては、インターネットを使いこなすこと、すなわちIT能力が重要な要素となってきます。今では世界のビジネス市場は、多言語マーケットとなっており、グローバル化の深化によって、ITツールを使えば、世界のどこにいても翻訳サービスが提供できます。そこで、日本翻訳協会はこのような時代の変化に対応して、世界に通用する、新たなプロフェッショナル・トランスレーターの実像を構築し、世に広めるとともに、その専門能力の資格認定をすることが必要であると考え、2008年12月7日（日）に第1回、その後3ヵ月ごとに「J T A公認翻訳専門職資格試験」を実施してきました。

受験を希望される皆様には、以下の内容をよく読み、<受験申請書・受験記入上の注意>に従って出願手続きをしてください。

「JTA 公認翻訳専門職資格試験」について

1. 試験概要

2017年9月2日（土）に行う試験は以下の3科目となります。

A) 試験科目：

＜英語部門＞

第1科目：翻訳文法技能試験(Language & Cultural Competence Test)

＜中国語部門＞

第1科目：以下のどちらか1科目または両方受験可

- 1) 中日翻訳文法技能試験
- 2) 日中翻訳文法技能試験

＜共通部門＞

第2科目：翻訳IT技能試験(IT Competence Test)

第3科目：翻訳マネジメント技能試験(Managerial Competence Test)

B) 第4科目の「翻訳専門技能試験」は以下の試験より1分野を選んで受験してください。

*試験実施日はそれぞれ違いますのでご注意ください。

① JTA 公認 出版翻訳能力検定試験

●試験分野：(英日)

- 1) 絵本翻訳能力検定試験
- 2) ヤングアダルト・児童書翻訳能力検定試験
- 3) エンターテインメント小説翻訳能力検定試験（ミステリー、SF、ファンタジー、ホラー）
- 4) ロマンズ翻訳能力検定試験
- 5) スピリチュアル翻訳能力検定試験
- 6) 一般教養書（ビジネス関連）翻訳能力検定試験
- 7) 一般教養書（サイエンス関連）翻訳能力検定試験

② JTA 公認 ビジネス翻訳能力検定試験

- 1) IR/金融翻訳能力検定試験（英日・日英）
- 2) リーガル翻訳能力検定試験（英日・日英）
- 3) 医学／薬学翻訳能力検定試験（英日・日英）
- 4) 特許翻訳能力検定試験（英日・日英）
- 5) 【日英】医学／薬学翻訳能力検定試験

③JTA 公認 中国語翻訳能力検定試験

- 1) リーガル翻訳能力検定試験
- 2) 中日ビジネス一般翻訳能力検定試験
- 3) 日中ビジネス一般翻訳能力検定試験

*上記「①JTA 公認 出版翻訳能力検定試験」、「②JTA 公認 ビジネス翻訳能力検定試験」及び「③JTA 公認 中国語翻訳能力検定試験」の試験の詳細及びお申込みは以下にアクセスして下さい。

① JTA 公認 出版翻訳能力検定試験

http://www.jta-net.or.jp/about_publication_exam.html

② JTA 公認 ビジネス翻訳能力検定試験

http://www.jta-net.or.jp/about_business_exam-2.html

③ JTA 公認 中国語翻訳能力検定試験

http://www.jta-net.or.jp/about_chinese_translation_exam.html

2. 認定資格取得条件 :

以下の1)~3)を全て満たせば「JTA 公認翻訳専門職(Certified Professional Translator)」と認定します。

- 1) 「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」の3科目全てに合格
- 2) 「①JTA 公認 出版翻訳能力検定試験」、「②JTA 公認 ビジネス翻訳能力検定試験」又は「③JTA 公認 中国語翻訳能力検定試験」のいずれかの1分野、2級以上取得
- 3) 2次審査(翻訳経験2年以上の実績審査)に合格

*試験合格の有効期限:初めの試験合格(2級以上の取得)より5年以内

*2014年3月2日開催の「第22回JTA 公認 翻訳専門職資格試験」を含め、それ以前に「翻訳専門技能試験」に合格している方は、5年間有効の範囲であれば上記『2)』の受験は必要ございません。但し専門技能を変更する場合は、受験して2級以上を取得する必要があります。

=====

第 36 回「JTA 公認翻訳専門職資格試験」 実施概要

- 実施日 : 2017年9月2日(土)
- 申込締切 : 2017年8月29日(火)
- 試験時間 : 第1科目 翻訳文法技能試験
 <英語部門>10:00~11:30(試験時間90分間)
 <中国語部門>(試験時間、各60分)
 ① 中日翻訳文法技能試験:10:00~11:00
 ② 日中翻訳文法技能試験:11:10~12:10
 第2科目 翻訳IT技能試験(英・中共通)12:30~13:30
 第3科目 翻訳マネジメント技能試験(英・中共通)13:45~14:15

- 試験場 : インターネットによる在宅試験
- 受験資格 : 国籍、性別、年齢を問わず
- 受験料 : *以下のオレンジにて示している受験料は、中国語部門、
 第1科目「中日翻訳文法技能試験」又は「日中翻訳文法技能試験」の
 どちらか1つを選んだ場合の受験料です。
 両方一度に受験する場合は、通常の実験料となります。
 英語部門の実験者の方は通常の実験料をご覧ください。

科目数	一般(税込)	「JTAメンバーズ」(税込)
3科目	16,200円	12,960円
3科目	13,500円	10,800円
2科目	10,800円	8,640円
2科目	8,100円	6,480円
1科目	5,400円	4,320円
1科目	2,700円	2,160円
翻訳文法技能試験 学生割引	3,240円	—
翻訳文法技能試験 学生割引	1,620円	—

◆試験のキャンセルについて

- ・試験をキャンセルした場合、受験料はご返金いたしませんのでご注意ください。ただし、試験の2日前までにメール等にてキャンセルのご連絡をくださった場合、一度のみ次回の試験に振り替えることができます。
- ・試験当日、試験問題をお送りして解答が送られてこない場合も、キャンセル扱いになりますので、次回受験をする場合には、受験料のお支払いとともに申請書をお送りくださいますようお願い致します。

- 合否判定 : 科目ごとに合否判定、ならびにグレードを示します。
- 科目合格有効期間 : それぞれ5年間
- 認定資格取得条件 :

以下の1)~3)を全て満たせば「JTA 公認翻訳専門職(Certified Professional Translator)」と認定します。

- 1) 「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」の3科目全てに合格
- 2) 「①JTA 公認 出版翻訳能力検定試験」又は「②JTA 公認 ビジネス翻訳能力検定試験」のいずれかの1分野、2級以上取得
- 3) 2次審査(翻訳経験2年以上の実績審査)に合格
 - *試験合格の有効期限:初めの試験合格(2級以上の取得)より5年以内
 - *2014年3月2日開催の「第22回JTA 公認 翻訳専門職資格試験」を含め、それ以前に「翻訳専門技能試験」に合格している方は、5年間有効の範囲であれば上記『2)』の受験は必要ございません。但し専門技能を変更する場合は、受験して2級以上を取得する必要があります。

受験申込から合否の発表まで

受験ご希望の方は「**受験申請書**」をご提出ください。
ご希望の試験を1科目~3科目までお選びください。

①【受験申請書提出】

1. <受験申請書>をダウンロードし、必要事項を記入してください。
 - *受験する言語を選んでください。英語・中国語いずれかにチェックを入れてください
2. 1) 以下の指定銀行に受験料をお振込みください。

銀行名	三菱東京UFJ銀行
支店名	赤坂見附支店(064)
口座番号	(普)0005838
口座名義	社団法人日本翻訳協会(シャダンホウジンニホンホンヤクキョウカイ)

 - 2) *海外からの受験料のお支払いに PayPal が利用できます。米ドルにてのお支払いとなります。<受験申請書>に必要事項をご記入いただき、eメールにてお送りください。直ぐに貴方様のeメール宛にご請求書をお送りいたしますのでお支払いください。
※<受験申請書>をお送りいただく際、必ず備考欄に「PayPalにて支払希望」とお書き添えください。
3. ご自身のお写真をデジタルカメラで撮影し<受験申請書>の所定の位置にデータを貼り付けてください。

4. 写真を貼り付けた<受験申請書>を添付して下記まで e-mail 送信してください。

cpt0812@jta-net.or.jp

ご自身のお写真を所定の位置に貼り付けることができない方は、
写真のまま添付データとして、<受験申請書>同時にお送りください。

②【申請書受理】

<受験申請書>の記載事項を確認のうえ以下を e-mail で送信します。

- ・受験番号
- ・受験心得
- ・宣誓供述書

③【試験当日】

解答を所定の手順で送信してください。

④【合否判定】

科目ごとの合否判定ならびにグレードは2017年10月中旬ごろにメールにてご通知いたします。

受験申請書記入上の注意

1. 提出年月日には受験申請書の提出日を記入してください。
2. ①<JTAメンバーズ>の方、会員番号 ②<JTAパートナーズ>の方、会員番号
③<バベルメンバーズ>の方、ID 番号を記入してください。
3. *印欄は記入しないでください。
4. 言語は、受験する言語 英語・中国語のいずれかから選んでください。
5. 氏名（フリガナ）、性別、生年月日、住所（フリガナ）、メールアドレス、**(e-mail アドレスを記載する際、携帯電話のメールアドレス及び hotmail アドレスは記載しないでください。)**、電話番号を記入してください。年齢は、受験申請書申込現在の年齢を記入してください。
6. 学歴は、最終学歴を記入してください。卒業、中退、在学のいずれかを○印で囲み、例えば、「4年制4年卒業、4年制2年中退または2年制1年在学」のように記入してください。

7. 翻訳歴は、会社等で翻訳業務に従事した場合、翻訳会社に登録して仕事をした場合、自営あるいは派遣会社で翻訳の仕事をした場合など翻訳の従事暦を記入するとともに、それぞれ従事した年数ならびに合計年数を記入してください。
8. 学習歴は、各種学校等の通信あるいは通学教育等により翻訳の学習をした場合に記入してください。
9. 職業等欄は、該当するものを選んでください。
10. 「JTA公認 翻訳専門職資格試験」合格歴欄の記入は、複数合格している場合、1科目のみ記入してください。
11. 受験申請書の所定欄に受験料の①お振込み日、②お振込み金額、③お振込み銀行名及び④お振込み名義人様をご記載ください。

オンライン決済 PayPal をご利用の場合は、<受験申請書>に必要事項をご記入いただき、eメールにてお送りください。直ぐに貴方様の eメール宛にご請求書をお送りいたしますので、お支払いください。

※<受験申請書>をお送りいただく際、必ず備考欄に「PayPal にて支払希望」とお書き添えください。

以上